

アジアの旧正月に270人



各国の正月料理に舌鼓



民族衣装を着てみたよ

成田国際交流協会と成田日中友好協会の共催による「新春を祝う会 in NARITA」が2月14日、中央公民館で開催されました。会員やボランティアによる各国の手作り正月料理が振る舞われ、餅つき、台湾茶道の体験、中国出身者による中国歌謡や成田国際高校の生徒による韓国語寸劇などイベントが盛りだくさん。最後は恒例のビンゴゲームで来場者は盛り上がっていました。

コロ民族音楽舞踊団

セルビアの“心”を
目の前で

訪日中の「セルビア国立コロ民族音楽舞踊団」が2月8日、成田中学校に招かれ、“コロ”と呼ばれる伝統舞踊(セルビアン・ダンス)を披露しました。成田ユネスコ協会が、地域の国際理解・交流を深めようと開催したもの。華やかな民族衣装をまとった総勢45人の団員が、次々と優雅で力強いダンスを見せると、会場が興奮と熱気に包まれました。1年生の伊達航志さんは「踊りに迫力があって圧倒されました。ダンサーの皆さんとも交流が持てうれしかったです」と話していました。



団員と一緒にダンスも

ひな祭りクッキング

おにぎりで作ったよ



上手に出来上がりました

桃の節句を前に、子ども館で2月20日、「ひな祭りクッキング」が開かれました。子どもたちがスタッフと一緒に作ったのは、ごはんのりを使った“おにぎりおひなさま”と、3色のごはんを使った“ひしめし”。かわいらしく色鮮やかな“おひなさま”が出来上がると「ひな祭りにも絶対作ります」と笑顔を浮かべていました。



おめでとう数え100歳

明治44年生まれの24人にお祝いが

数えて100歳を迎えたお年寄りに2月1日～5日、市からお祝いが届けられました。家族4世代で暮らす鬼澤つねさん(長田)は、訪れた小泉市長と歓談。「自分のことは自分ですることと、小学生のひ孫の世話をするのが長寿の秘訣」と話していました。今年市内で対象となったのは明治44年生まれの次の24人です。(敬称略)

宮野 すい(松子)	瓜生 シマ(前林)
渡邊 喬(寺台)	野村キクエ(中台)
鬼澤 つね(長田)	横田 たけ(大生)
関川 はる(水掛)	根本 ツタ(大室)
丹野喜久壽(吾妻)	萩谷 ゆき(並木町)
山田 秀(大竹)	真鍋壽美恵(橋賀台)
武田 浩(米野)	椎名 さき(七沢)
富永 トシ(加良部)	岩井 常(松崎)
中山 シマ(飯田町)	山崎 延子(幸町)
三橋 よ志(橋賀台)	小倉 幸(大室)
中尾キヌエ(中台)	松下松太郎(前林)
岩澤 千代(不動ヶ岡)	金森 誠子(橋賀台)



小泉市長と談笑する鬼澤つねさん

女オビシャ

伝統を受け継ぐ春の風物詩



子安観音の旗を先頭に「お籠」を抱えて田町へ向かう

旧成田町7町(仲町・上町・幸町・花崎町・田町・東町・本町)では、毎年2月18日に「女オビシャ」が行われます。「女オビシャ」は7町内の女性たちが、7年に一度回ってくる「お籠(子安観音)」をお守りする役を次の当番町へ受け渡す儀式です。今年は、花崎町から田町への受け渡し。お迎えする歌とお送りする歌が交換され、「お籠」が田町に渡されました。1年間「お籠」を守った花崎町は「おどり花見」(県指定無形民俗文化財)の当番町。女性たちは4月3日の本番に向けて準備を始めます。

成田空港成長戦略会議

魅力向上目指し初会合

羽田空港の国際ハブ空港化が進められる中で、成田空港の成長発展の基盤づくりを検討するため、市の「成田空港成長戦略会議」の初会合が2月5日、同空港内で開かれました。会議は、大学教授や航空アナリスト、旅行会社の社員など10人の有識者で構成。成田空港の魅力アップ策などを話し合い、6月を目途に中間とりまとめを行う予定です。



「さまざまな角度からの提案を」と呼び掛ける小泉市長